

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立北田辺小学校

令和 7 年 4 月

## 大阪市立北田辺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

北田辺小学校は、令和5年度に学校創立90年を迎えた本市の中でも伝統ある小学校の一つである。作家の開高健を輩出するなど卒業生で活躍している人材は多く、また、三世代にわたって本校に通っているという学校に思い入れのある家庭や、下町情緒を感じさせる人情味あふれる地域の特色にも支えられて、穏やかで安定した学校運営がなされている。

子どもたちも比較的落ち着いた学校生活を送っているが、他校と同様に喫緊の課題も山積しており、中期目標の達成に向けて次のような分析と課題設定を行う。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による学校休業後の、「全国学力・学習状況調査」および「全国体力・運動能力、運動状況等調査」等の実施により、数値目標の設定については流動的である。

- ① 世界の多様な変化に対応し、児童の心の教育を充実させ、子どもたちの不安感を取り除くことはもとより、混乱した社会の中で倫理観や道徳心を身につけさせる。そのために、道徳教育・人権教育の充実を図る（いじめ・体罰・虐待を含め、児童の生活実態に対するアンケート項目について、前年度水準以上もしくは高水準の維持を目標とする）。
- ② 熱中症対策や感染症対策が喫緊の課題である。また、アレルギー症状のある児童への対応も引き続き重点的に取り組む必要がある。よって、子どもたちが安心して成長できる学校環境の整備に努める。（熱中症の減少や、引き続きアレルギー症状による事故ゼロ等、健康に関する調査で、前年度水準以上もしくは高水準の維持を目標とする）。
- ③ 新学習指導要領の実施に当たり、学びの充実を課題に設定する。小学校での言葉の力を身に付けさせるため、語彙力を増やし、活用力を高めていく。議論できる学級づくりを基本として、「学校の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」と答える児童を維持することを目標とする。
- ④ 「全国体力・運動能力、運動状況等調査」に向け、体育的行事はもとより普段の授業や休み時間の運動機会を十分に確保し、「体を動かしたり遊んだり、運動をしたりすることが楽しい」と答える児童を維持することを目標とする。
- ⑤ 児童の人間力を高めるためには、座学だけではなく音楽・図工・家庭科等の教科指導はもとより、児童会活動、クラブ活動、宿泊行事、音楽・芸術鑑賞等の集団活動や情操教育が重要である。時間の確保が困難な状況が予想されるが、できる限り前年度までの取り組みが継続できるように努力する（アンケートにより、学校生活の満足度が低下しないことを目標値とする）。
- ⑥ 特別支援学級に在籍する児童は多い。これまでも子どもに寄り添う丁寧な指導を実現してきたが、共生社会の実現をめざしたインクルーシブ教育の実践においては、障がいに対する深く正しい理解が重要である。今後も区役所や関係諸機関との連携を強化するとともに、ユニバーサルデザインの視点から授業改善を進め、インクルーシブ教育の推進を図る。

## 中期目標（令和7年度までの目標）

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を46%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 【ICTの活用に関する目標】

- 学習者用端末を授業で週に2回以上活用する。

#### 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】

- 「ゆとりの日」の設定を週1回以上設定したり、夏季休業期間中の学校閉庁日は3日以上設定したりする。
- 学校安全衛生委員会の運営を改善し、教職員の働く意識を改善する。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（中期目標に学校目標を加えたもの）

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがある」について肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- ・ 児童アンケートで「友だちのいいところを見つけて伝えている」に肯定的に答える児童の割合を昨年度と同程度とする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を46%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする。
- ・ 食育や保健衛生を通して健康に関する知識理解を深め、自らよりよい生活習慣を身につけようとする児童の割合を、前年度の水準に維持できるようにする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 【ICTの活用に関する目標】

- 学習者用端末を授業で週に2回以上活用する。
- ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業数の50%にする。

#### 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】

- 「ゆとりの日」の設定を週1回以上設定したり、夏季休業期間中の学校閉庁日は3日以上設定したりする。
- 学校安全衛生委員会の話し合いを充実させ、校内での働き方について改善する。
- ・ 年次有給休暇を7日以上取得する教職員の割合を1月末に、90%以上にする。
- ・ 情報モラルに関する指導を強化するため、児童の実態に応じた指導を継続する。
- ・ 児童にふれあう時間を保障させるため、校時や学校行事の見直しを行う。

大阪市立北田辺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>●小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 【R6 79.6%】</p> <p>●年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 【R6 3.97%】</p> <p>●年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 【R6 44.4%】</p> <p>・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがある」について肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 【R6 82.6%】</p> <p>・令和7年度の児童アンケートで「友だちのいいところを見つけて伝えている。」に肯定的に答える児童を85%以上にする。 【R6 84.6%】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現（基本的な方向1）】</p> <p>・児童理解にもとづく学年・学級づくりを進め、一人一人の児童の様子を校内で共通理解を図り、いじめを許さない学校をつくる。</p> <p style="text-align: right;">（いじめへの対応）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・児童アンケートで「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度の水準を維持できるようにする。 【R6 88.9%】</p> <p>・日々の児童観察からいじめの未然防止や早期発見に努める。また学期に一度いじめの校内調査を実施し、起こった事案に対して迅速に対応し、早期に解決するよう取り組む。</p>	
<p>取組内容②【安全・安心な教育環境の実現（基本的な方向1）】</p> <p>・学校をよりよくしていくために自分にできることをしっかりやろうとする意識を高めるとともに、具体的な目標を設定し、その目標の達成に向けて学校全体で努力するよう指導していく。</p> <p>・LINEなどのSNSや、メールを使用してのいじめが起こらないように、児童にスマートフォンや携帯電話を持たせる保護者へ、家庭での使い方のルール作り、トラブル対応などの協力を求めていく。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童の適応指導を大切にしたい、別室登校や環境づくりの態勢を整える。 (問題行動への対応)</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ろうかを走らない」「トイレのスリッパをそろえる」等、具体的な目標を挙げ、成果と課題を明確にし、指導を継続して行う。</li> <li>・不登校の児童、その保護者の思いを把握した上で、一人一人に合った取り組みを進め、児童の健やかな成長に連携して取り組む。</li> <li>・ほっとルームの活用、スクールカウンセラーの連携、子どもサポートネットや外部機関と連携を充実させ、個に応じた指導に取り組む。</li> </ul>	
<p>取組内容③【安全・安心な教育環境の実現（基本的な方向２）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生活の中で、自分や友だちのいいところを伝え合う活動を行うことにより、自尊感情を高め、他者への理解を深める。 (豊かな心の育成)</li> </ul>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる教育活動の中で成功体験を増やせるよう、一人一人の児童が活躍できる場を設定し、その頑張りを認め合う場を設ける。</li> <li>・各学級での交流活動やふれあい活動やクラブ活動、委員会活動などの異学年交流を通して、仲間とのふれあい活動をもてるようにする。</li> <li>・児童アンケートで「友だちのいいところを見つけて伝えている。」に肯定的に答える児童を８５％以上にする。 【R6 84.6%】</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立北田辺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>●小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を46%以上にする。 【R6 45.8%】</p> <p>●小学校学力経年調査における国語、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0, 01ポイント向上させる。 【R6 6年 国語-0.05 算数-0.09、5年 国語 0 算数+0.05、 4年 国語-0.1 算数-0.06】</p> <p>●小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。 【R6 81.7%】</p> <p>●小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。 【R6 68.3%】</p> <p>・食育や保健衛生を通して健康に関する知識理解を深め、自らよりよい生活習慣を身につけようとする児童の割合を前年度の水準を維持できるようにする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上（基本的な方向4）】</p> <p>・「わかる楽しさ、できる喜び」を実感させるよう、学習形態を工夫し、主体的に学ぶ習慣を身につけさせる。</p> <p>・「議論できる学級」を経営し、児童に、話し合い活動を通して自分の考えを伝え、友達の考えを知ったり、比較したりすることで、考えを広げたり深めたりする。</p> <p>・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。</p> <p>（言語活動・理数教育の充実）（「主体的・対話的で深い学び」の推進）（英語教育の強化）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・校内研究「図画工作科」を中心に、研究主題を大切にした授業研究を計画的に実施する。</p> <p>・他教科においても話し合い活動を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」を行うための具体的な方法を考え、議論できる授業展開を工夫する。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートの「自分の考えを発表したり、文で書いたりしている」を肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。 <b>【R6 84.3%】</b></li> <li>・児童アンケートの「英語の学習が楽しい」を肯定的に答える児童の割合を前年度の水準を維持できるようにする。 <b>【R6 92.3%】</b></li> </ul>	
<p>取組内容②【健やかな体の育成 基本的な方向5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育科の授業において、指導の方法を工夫し、児童が楽しみながら体力・運動能力の向上を図ることができるように努める。</li> <li>・体育的行事や体力づくりの週間、遊びながら運動に慣れ親しむ場を工夫し、学校全体として体力・運動能力を高められるように環境づくりに努める。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（ 体力・運動能力向上のための取組の推進 ）</p>	
<p>指標</p> <p>児童アンケートで「体を動かしたり、運動したりすることが楽しい」を肯定的に答える割合を前年度の水準を維持できるようにする。 <b>【R6 92.8%】</b></p>	
<p>取組内容③【健やかな体の育成 基本的な方向5】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのある児童への配慮を強化・継続する。</li> <li>・感染症をはじめとする病気やけがに対する指導の充実を図る。</li> </ul> <p style="text-align: center;">（ 健康教育・食育の推進 ）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回、食物アレルギー研修を行い、食物アレルギー個別対応に係る事故防止を徹底する。</li> <li>・児童アンケートで「給食前の手洗い、ろうかを走らないなど、病気やけがをしないように気を付けている」を肯定的に答える割合を75%以上にする。 <b>【R6 調査なし】</b></li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	



大阪市立北田辺小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>【ICTの活用に関する目標】</p> <p>●学習者用端末を授業で週に1回以上活用する。</p> <p>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業数の60%にする。 【R6 59.0%】</p> <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <p>●「ゆとりの日」の設定を週1回以上設定し、夏季休業期間中の学校閉庁日は3日以上設定する。</p> <p>●学校安全衛生委員会の運営を改善し、教職員の働く意識を改善する。</p> <p>・年次有給休暇を7日以上取得する教職員の割合を1月末に91%以上にする</p> <p>【R6 90.9%】</p> <p>・ICTの校内運営を推進する校内体制を整える。また、ICT研修を充実させる。</p> <p>・情報モラルに関する指導を強化するため、児童の実態に応じた指導を継続する。</p> <p>・児童にふれあう時間を保障させるため、校時や学校行事の見直しを行う。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 基本的な方向6】</p> <p>児童が主体的にICTを活用できるように、学習者用端末の使用機会を積極的に設定する。</p> <p>「心の天気」、「ナビマ」、「調べ学習」、「SKY MENU」等を積極的に使用し、学習者用端末の活用を習慣化させる。</p> <p>(ICTを活用した教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・ICTの校内推進部を設置し、校内体制を整える。</p> <p>・ICT研修会を年2回以上実施し、充実させ、児童への指導研修に活かす。</p> <p>・「心の天気」を活用し、児童とのコミュニケーションの機会を増やす。そのため、「心の天気」の利用率を70%以上にする。 【R6 66.0%】</p>	
<p>取組内容②【教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 基本的な方向6】</p> <p>・家庭と連携し、情報モラル教育を充実させる。</p> <p>(ICT情報モラル教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の発達段階に応じて、情報モラルに関する指導を年間２回、取り組む。</li> <li>・Teams や手紙を通して、年間２回、家庭に周知する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【学びを支える教育環境の充実（基本的な方向７）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等の精選や設定日を工夫することでゆとりを持てる日を増やす。</li> <li>・学校安全衛生委員会を充実させ、教職員の健康、働き方、職場環境を整える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（教員の資質向上・人材の確保）</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークライフバランスの向上に向け、毎月の「時間外勤務時間」を点検する。</li> <li>・学期に一度、学校安全衛生委員会を実施し、産業医の意見を取り入れ、教職員の健康・働き方、職場環境を整える。そのため、学校安全衛生委員会のテーマ等を事前に計画して実践する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	
次年度への改善点	